

特別養護老人ホーム 杏樹苑

(杏樹苑空床型短期入所事業所含む)

1、総括

令和6年は、昨年度より掲げてまいりました「従来型での個別ケア」が定着し、入居者一人ひとりの生活習慣やニーズを把握する事で、統一したケアに繋げることができたと思っております。入居者の多種多様な価値観や考え方を理解した24シートの活用に関しては、実践しながら定着に繋げることはできず課題となっております。杏樹苑は従来型であるため、多床室での共同生活を送るかたちとなるため、利用者同士が認め合い共存いただく中でも個人が活かされ、受容できる環境を作っていきたいと、取り組みを継続しました。職員の「考える力」を大切にし、様々な視点を個別ケアに生かすことで更に幅広いケアへのアプローチと、新たな気づきに繋がったと思います。食のイベントや外出レクリエーション、ボランティアの受入れも再開し、面会以外の交流が持てました。機能訓練課も創設されましたので、「生活の場」にリハビリの視点も取り入れながら、今後も他職種協働連携の充実を図りたいと考えます。

2、重点取組の成果と課題

重点取組実施項目	実施内容と成果について	次年度への課題
快適な環境	利用者主体の考えを念頭におき、利用者個人の生活時間を考えることで、それぞれに必要な場所・時間に合った過ごし方の提供に努めました。	個別ケアの実施をすることで見えてきた、必要な人員。物をそろえて環境を整えていくことで、快適な環境の提供に努めていく。
充実と満足	全体で行った催し物やレクを通して、沢山の方の笑顔や喜ぶ姿を見る事が出来た。機能訓練課の導入に伴い。サークルへの参加が増えたことで、心の豊かさ。身体機能の維持・向上への取り組みも出来たと考えております。	引き続き機能訓練課との連携でサークル活動への参加やイベントを行って行きます。サークル活動では介護職員の参加時間を増やす事で、普段の様子との違いを感じ取り、普段の生活に対してのアプローチに役立てていきたい。
健康と安全	入居者並びにご利用者様の健康管理に努め、「生活の場」での安全安心を維持できるように、必要な医療提供ができた。適切な感染対策を維持、継続するように施設全体で努めた。	「生活の場」における医療の提供に努め、入居者並びにご利用者様が安心してケアを受けられるように多職種での連携を行っていく。施設全体の感染の知識や研修をより深めていく。
奉仕活動団体等の受け入れ	引き続きコンビニエンスストアの来苑販売を実施しました。感染対策を行いながら、傾聴ボランティアの方の来苑もして頂きました。	来年度もコンビニエンスストアの来苑販売を継続し地域との交流を図って参ります。防災の日や芋煮会等のイベントに置いても交流の場を設ける事が出来ればと思っております。
職員の資質向上	各委員会ではテーマを設けることで職員個人が考え、意見を出すことで、職員個人が発言する場が増えました。それに伴い職員間での繋がりも増えて施設全体での資質向上に努めました。	次年度もテーマを決めた委員会の実施を行って参ります。職員個人が考えた意見や考えを今度は職員間での共有を行い、個人としてもアウトプットしていくことで身になるよう努める。
外部機関との連携	今年度は療養型病院への転院を希望される方もあり、医療連携に努めた。外部との連携に新たな機能が加わり、利用することによって、東京都の病院へ転院することの支援ができた。また、終末期を迎える方が最期の日まで同室で生活できるよう支援できたことが感染対策を行って以降、初めてとなった。今年度も医療連携に努める事が出来た。ロングでショートステイを利用されてからの入所者も多くあり、稼働にも繋がったが入院者が多く出てしまったことは苑内での課題となる。	来年度も、主治医のみならず医療機関との連携を図り、入居者並びに利用者の方々に安心して生活して頂けるように努めていく。看取り介護のみならず、療養型病院へ転院される方の医療連携の構築に努力していく。ご家族との面会やイベント参加などの機会を増やし、社会との繋がりを支援していきたい。ご家族とご入居者の方と過ごす時間が有意義なものとなるような環境づくりを苑内で行っていく。機能訓練課が発足されたことでリハビリやレクリエーションが充実していることを周りに周知されるべく、来年度も営業活動を行い、ご入居の待機者確保と新規ショートご利用者の確保に努めていく。
業務連携	感染予防策をしたうえで、集合での他職種を交えたカンファレンスを行えた事で、よりケアに対して多くの気づきがあったと考える。	それぞれが多職種を認め合うからこそ助け合う事ができ、新しい取り組みが結果良好になる様、補い合うことの継続に努める。

3、利用実績（入居定員 62 名 空床型短期入所定員 62 名）

	特養 延べ人数	特養 稼働率（％）	ショートステイ 延べ人数	ショートステイ 稼働率（％）	新規入居 者数	退居者数	入院者延 べ人数
4 月	1,782	95.81	0	0	1	1	33
5 月	1,731	90.06	24	1.25	0	1	122
6 月	1,593	85.65	52	2.80	0	0	177
7 月	1,738	90.43	76	3.95	1	2	101
8 月	1,789	93.08	79	4.11	2	0	18
9 月	1,726	92.80	71	3.82	1	3	27
10 月	1,809	94.12	66	3.43	2	0	28
11 月	1,755	94.35	42	2.26	2	2	52
12 月	1,759	91.52	11	0.57	2	1	68
1 月	1,784	92.82	21	1.09	0	1	55
2 月	1,644	94.70	0	0	1	2	15
3 月	1,671	86.89	0	0	2	2	142
合計	20,781 人	平均 91.85%	442 人	平均 1.94%	14 人	15 人	838 人

4、事業実績

オンコール出勤件数	8 回
面会者延べ人数	822 人
入居相談件数	87 件
ボランティア受け入れ総数	20 件
実習生受け入れ総数	5 件
虐待事例等受け入れ件数	1 件
ケアカンファレンス実施回数	83 件
サービス担当者会議実施回数	29 件
セーフティネット事業	0 件

開催委員会・会議（基本各月 1 回開催）
感染症対策委員会（年 4 回）職員会議
お食事会議・衛生委員会・BCP 会議
リスクマネジメント委員会・優先入所検討委員会
身体拘束ゼロ推進委員会
コンチネンス委員会・虐待防止検討委員会
介護係長会議・介護総リーダー会議
介護フロア会議
施設サービス部会議

行事報告

月	内 容	備 考
令和6年 4月	開設記念日（1日）桜を見る会（2日）コンビニ販売（19日）誕生日会（随時）	桜を見ながら桜茶を飲みゆったりとした時間を感じてもらいました。
5月	菖蒲湯週間（1～7日）新茶を楽しむ会（2日）青空そうめん（15日）誕生日会（随時）	本物の竹を使い、気持ちのいい外の風を感じながら流しそうめんを楽しまれました。
6月	誕生日会（随時）梅・紫蘇ジュースを作ろう（9日）コンビニ販売（21日）	サロンに集まり漬けた梅・紫蘇ジュースと一緒に作りました。
7月	バーベキュー・鉄板焼き（2日）夏カフェ・七夕祭り（7日）誕生日会（随時） 鰻を食べよう（30・31日）スイカを食べよう（31日）	暑さに考慮し室内でも楽しめるよう鉄板焼きで食事をしました。
8月	誕生日会（随時）精霊馬作り（13日）杏樹苑夏祭り・花火大会（20日23日）	大きなナイアガラの花火を用意し夏の風情を感じました。
9月	誕生日会（随時）敬老会（16日）十五夜（17日）秋分の日（23日）	催し物として職員が踊りを踊って各フロアを回りました。
10月	買い物に行こう（11日）誕生日会（随時）大運動会（29日）秋カフェ・ハロウィン（31日）	彩の森公園に出向き買い物したものを召し上がりました。
11月	芋煮会（1日）公園散歩ツアー（8日）誕生日会（随時）	今年の芋煮会では、濾過機を作り展示しました。
12月	ゆず湯週間（19～26日）クリスマス会（25日）冬カフェ（25日）誕生日会（随時）	ビーフシチューを提供して暖かさを感じました。
令和7年 1月	初日の出を見る会（1日）お餅つき（3日）鏡開き（11日）誕生日会（随時）	寒さ対策を万全に恒例の初日の出を見る会を行いました。
2月	節分（3日）コンビニ販売（21日）誕生日会（随時）	コンビニ販売ではご自分で商品を選び楽しく買い物をされていました。
3月	ひな祭り（3日）誕生日会（随時）	感染症拡大の為に予定していたイベントを行えませんでした。
・その他サークル活動・通年実施行事等 誕生日会（フロアごと毎月実施。誕生日に合わせ随時実施）、体操サークル、手芸教室、書道教室、フラワーサークル、映画を見る会、歌を唄う会 レクリエーション（フロア毎に随時実施） ・行事実施成果と次年度への課題（反省点） 今年度も引き続き感染対策に重点を置きながらも、杏樹苑・杏樹苑滔々館合同でのイベントを増やしたことにより、ご利用者同士の関わりがイベントを通して増えた1年になりました。 次年度はサークル活動への参加頻度を増やし、サークル活動を通して職員とご利用者の繋がりや、気づきを大切にして日々の生活に繋がるイベントやサークルにしていこう努めて参ります。		